

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

公表：令和 6 年 4 月 12 日

職員数 5 名

事業所名 発達支援ルーム ひなた

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		人数に応じてスペースを区切るなどの工夫をしています。	
	②	職員の配置数は適切である	5		基準より多い人員配置をしています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		表示など視覚的にもわかりやすいように配慮しています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		広い空間で過ごせるよう、活動に応じて場所を変えています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		ミーティングを定期的に行っています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		保護者様からのご意見を共有して業務改善を行っています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		ホームページにて評価の結果及び改善の内容を公開しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5		令和 6 年度に第三者評価を実施する予定です。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		オンラインなども活用し、定期的に研修を行っています。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		お子さまの様子や保護者様のニーズを共有し、多角的な方面から児童発達支援計画を作成しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		指標に沿ったツールを使用しております。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		スモールステップの目標を立て、目標達成に向けた支援内容を設定しています。家族支援にも力を入れています。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		計画内容を全職員で共有して支援しています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		お互いに相談し合いながらプログラム計画を立てています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		新しいプログラムを積極的に取り入れています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5		お子さんの状況に応じて常に内容の見直しをしています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		毎朝必ずミーティングを行っています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	終了後に打ち合わせが出来ない時には翌朝の打ち合わせで振り返りを行っています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		記録ツールの共有を行い、全員が記録内容を把握出来るようにしています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		日々の小さな気づきを見逃さないように定期的にモニタリングを行っています。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		個別支援計画作成者が会議に参画しております。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		情報共有を定期的に行っています。	
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		通園先などにも個別支援計画を提示し、情報共有を図っています。	
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		進学先へ情報提供をし、安心して進学できるようお手伝いしています。	
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2		セルフプランの方が多いため、今後は専門機関と連携を行いより良い支援が行えるよう取り組みます。
	㉖	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	1	同法人内の保育園の夏まつりにお店屋さんを出店しました。	
	㉗	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5		子ども部会に毎回参加しています。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		定期的に面談を行い、お子さまについて話し合いをしています。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	5		保護者会を開き、学習の場を設けています。	

	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約時に丁寧な説明をしています。	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		新しく児童発達支援計画を立案した際には、丁寧に説明を行ってから、同意を頂いております。	
	⑫	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		定期的な面談を行っています。また、随時相談も承っております。	
保護者への説明責任等	⑬	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5		放課後等デイサービスの保護者とも連携が出来るよう、保護者会を開催しております。	
	⑭	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		相談等があった際には、その日の内に管理者が対応するよう心掛けております。	
	⑮	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		「ひなただより」を毎月発行しております。	
	⑯	個人情報の取扱いに十分注意している	5		職員で個人情報取扱いを徹底しております。	
	⑰	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		ツールによる連絡等で個別に対応しております。	
	⑱	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		事業所主体の行事を企画し、地域に根ざした事業所を目指します。
	⑲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		緊急時に対応出来るよう、マニュアルを策定し、全職員で共通理解をしています。	
非常時等の対応	⑳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		活動の中にも避難訓練も取り入れ、日常的に訓練をしています。	
	㉑	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		保護者様には調査票の提出を依頼しております。	
	㉒	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				現在、食物アレルギーのあるお子さまはいませんが、アレルギーの対応もさせていただきます。
	㉓	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		「あぶない」と誰かが感じた場面で「ヒヤリハットを書こう」と声を掛け合っています。	
	㉔	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		県主催の研修に全職員が参加しました。	
	㉕	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5		保護者説明を十分に行い、同意を得た上で解除を目的とした計画を記載しております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。